



## CITY WATCHING

### クローズアップ CLOSE UP

#### 上泉伊勢守を全国へ

剣聖・上泉伊勢守(信綱)を顕彰する新陰流流祖祭を6月12日、生誕の地である上泉町自治会館で開催。功績を伝える石碑の除幕式や、門弟による演武奉納などが行われ、「前橋の伊勢守を全国へ伝えるため、力を合わせましょう」と決意を新たにしました。



#### まちなかに新名所誕生

6月4日、まちなかに「伊香保おもちゃと人形自動車博物館・前橋別館1号館～3号館」がオープン。まちなかサロン、スズラン前橋店、北海亭で往年の名車や懐かしい玩具が見られます。新たな魅力が加わったまちなかにみんなで出掛けてみませんか。



#### 満開のアジサイを堪能

6月19日に荻窪公園でアジサイまつりを開催しました。約1万6,000株のアジサイが咲き誇る中、郷土芸能の披露やスタンプラリーなどを実施。荻窪町の木村自治会長は「夜は蛍も舞います。この時季ならではの魅力を感じてもらいたいですね」と語りました。

### いきいき まえばし人

藤岡 容子さん・59歳  
和紙で七夕飾りを制作  
千代田町二丁目

#### 子どもも大人も楽しめる七夕飾りを



13年前の店舗リニューアルをきっかけに毎年昔話や童話をテーマとした、趣向を凝らした七夕飾りを作っている。飾りの材料は店舗で扱う和紙やつや紙など。お金は掛けず、手間隙かけての制作だ。

「ただ見るだけでなく、子どもから大人まで楽しめるような、参加できる飾りを作りたいんです」

そのためのからくりや仕掛けの勉強もしたい、と話す藤岡さん。

手先を使う飾り作りには保育士時代の経験が生かされている。制作は夫婦含め5人がかり。テーマ選びと飾り作りは藤岡さんが中心で、仕掛け

は夫の一宏さんが担当する。3月頃から構想を始め、5月から2カ月半かけて制作。祭りの前日まで試行錯誤を繰り返す。飾るのは店舗の看板の上。取り付けも一苦労だ。

「楽しみにしてくれている人がいるのは、うれしい反面プレッシャーです。展示期間は短くても、祭りに来てくれる人へのおもてなしのために、とやっています。毎年やっとの思いで作っています。子どもも楽しそうな顔を見ると来年もまた頑張ろうと思っちゃうんですよね」

今年も藤岡さんたち商店街の思いのこもった飾りが七夕祭りを美しく彩ることだろう。



原材料黄金千貫の生産者  
横堀勇次さん

本格芋焼酎「赤城の恵」原酒

自然豊かな赤城山麓の前橋で、生産者が妥協を許さず、手間を惜しまず作った赤城の恵ブランドの認証品。今回は「本格芋焼酎「赤城の恵」原酒」を紹介します。

遊休農地解消策として生産されたサツマイモを原料に、生産者やJA、酒卸業者、県、市などの協力で開発された本格芋焼酎「赤城の恵」。原料

### 赤城の恵ブランド 本格芋焼酎「赤城の恵」原酒



お酒は20歳になってから

のサツマイモは、赤城山麓の良質な伏流水をたっぷり吸収し、丹精して育てられた「黄金千貫」という品種。でんぷん質が多く、芋焼酎の原料に適しています。

本格芋焼酎「赤城の恵」は平成21年から販売し、昨年から原酒の販売も開始。アルコール度数は36度で原酒ならではのコクや香り、凝縮されたうまみを楽しめます。ロツクのほか、「前橋の天然水」で好きな濃さに割って飲めばよりまろやかな味わいに。

本格芋焼酎「赤城の恵」原酒は、1本720ミリリットルで2,500円。600本の限定販売です。市内酒販店や量販店、農産物直売所などで購入できます。

群馬県卸酒販 ☎027-231-9156